



# IIDA SHINKIN BANK HOTLINE 2023

ディスクロージャー誌

飯田信用金庫の現況



IIDA SHINKIN BANK  
飯田信用金庫

平素は飯田信用金庫をご愛顧賜り、誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

みなさまがたに当金庫の業績をより良くご理解いただくため、今年もディスクロージャー誌「HOTLINE（ホットライン）2023」を作成いたしました。本冊子をご高覧いただき、私どもの現在の姿をご賢察いただければ幸いです。

令和4年度の日本経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化に向けた動きが進み、インバウンド需要の回復も見られることから、緩やかな持ち直しが続いております。

当地域ではリニア中央新幹線や三遠南信自動車道の工事の進展により、今後の発展に対する期待感が高まっておりますが、一方で資源価格の高止まりなどの影響もあり、引き続き今後の見通しは極めて不透明であると言わざるを得ません。

さて、当金庫が令和4年度より開始した第9次中期経営計画では、第8次中期経営計画期間中に創出した時間・人材・資金といった経営資源を投下し、「共

感・協働・共創」をテーマに掲げ、重点課題の「お客さまと地域の課題解決支援の強化」により、地域の力を高める取り組みを開始しました。1年目の令和4年度はお客さま・地域・職員・金庫の4つの視点で様々な取り組みが開始され、着実に歩を進めました。2年目となる令和5年度は最重点目標を課題解決支援の「拡大」×「深化」×「加速」とし、同様に4つの視点からアプローチする施策を展開してまいります。そして、これまでに培ったスキルと組織力により施策を強力に推し進め、地域とお客さまが抱える多くの課題の解決支援にスピード感をもって全力で取り組み、職員一丸となって多くの成果を積み上げてまいります。

末筆ではございますが、みなさまには今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

理事長 小池 貞志



|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ごあいさつ                      |     |
| 第9次中期経営計画                  | 3   |
| マネー・ローンダリングへの取り組み          | 4   |
| 業績ハイライト                    | 5   |
| トピックス                      | 7   |
| 主な商品・サービス一覧                | 9   |
| 地域貢献表彰「SPARC(スパーク)」        | 10  |
| 地域密着型金融の推進への取り組みと金融仲介機能の発揮 | 11  |
| 総代会制度                      | 13  |
| 店舗一覧・所在地地図                 | 15  |
| 役員一覧・組織図                   | 17  |
| 環境への取り組み                   | 18  |
| SDGsへの取り組み                 | 裏表紙 |

#### 飯田信用金庫の決算状況

当金庫ホームページをご覧ください。



#### 飯田信用金庫の概要

令和5年3月31日現在

|           |                |
|-----------|----------------|
| 名 称       | 飯田信用金庫         |
| 本 店 所 在 地 | 長野県飯田市本町一丁目2番地 |
| 創 立       | 大正14年9月        |
| 店 舗 数     | 23店舗           |
| 出 資 金     | 10億38百万円       |
| 会 員 数     | 27,154人        |
| 常勤役職員数    | 355人           |
| 預 金       | 6,035億85百万円    |
| 貸 出 金     | 2,634億06百万円    |
| 有 価 証 券   | 3,162億07百万円    |

## 経営方針

### 経営基本理念

## 地域社会の発展に貢献する

### 経営ビジョン

地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関

### 行 動 指 針

- ① 金融を通じて中小企業の発展と住民の生活向上のために心から奉仕する。
- ② 役職員は常に一体となって健全かつ積極的な経営に努める。
- ③ 職員の生活向上を図り明るく朗らかな職場を築く。

## 当金庫の経営の考え方

- 狭域高密度経営  
預金・貸出金の残高が多いことが必ずしも経営の健全性に結びつかないことが明らかになっています。当金庫は定められた営業範囲の中で、さらに地域に密着し、独自の金融サービスをより充実させていく所存です。
- 健全・効率経営の継続  
厳しい経済環境のもと、当金庫がこれまで標榜してまいりました健全・効率経営に今後も努めてまいります。
- 基本的な経営姿勢  
当金庫は、経営基本理念に基づいて役職員の行動指針を定め、当金庫が目指す姿を経営ビジョンとして描いています。大きく変化する金融環境のもと原点に立ち返って、地域協同組織金融機関としての使命を再確認しています。
- 真に存在感のある信用金庫でありつづける  
数字が表す以上に、地域のみなさまに「頼りがいのある金融機関だ」といわれるよう努力してまいります。

## 当金庫の主な事業

- 預金業務  
当座預金、普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、定期積金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、譲渡性預金等
- 貸出業務  
手形貸付、証書貸付、当座貸越、手形の割引（でんさい割引含む）
- 為替業務  
内国為替業務、外国為替業務
- 証券業務  
有価証券投資業務、公共債の引受・販売、私募債の引受、投資信託の販売等
- 保険募集業務  
年金保険、終身保険、がん保険、医療保険、火災保険、傷害保険等
- 代理業務  
日本銀行、日本政策金融公庫、信金中央金庫、住宅金融支援機構等
- その他  
債務保証、貸金庫業務、公金取扱業務、電子債権記録業に係る業務、確定拠出年金業務、企業等の経営改善支援、信託契約代理店業務等

第9次中期経営計画 (2022年 4月～2025年 3月)  
架け橋2028 Second Stage ～ Change is Chance ～

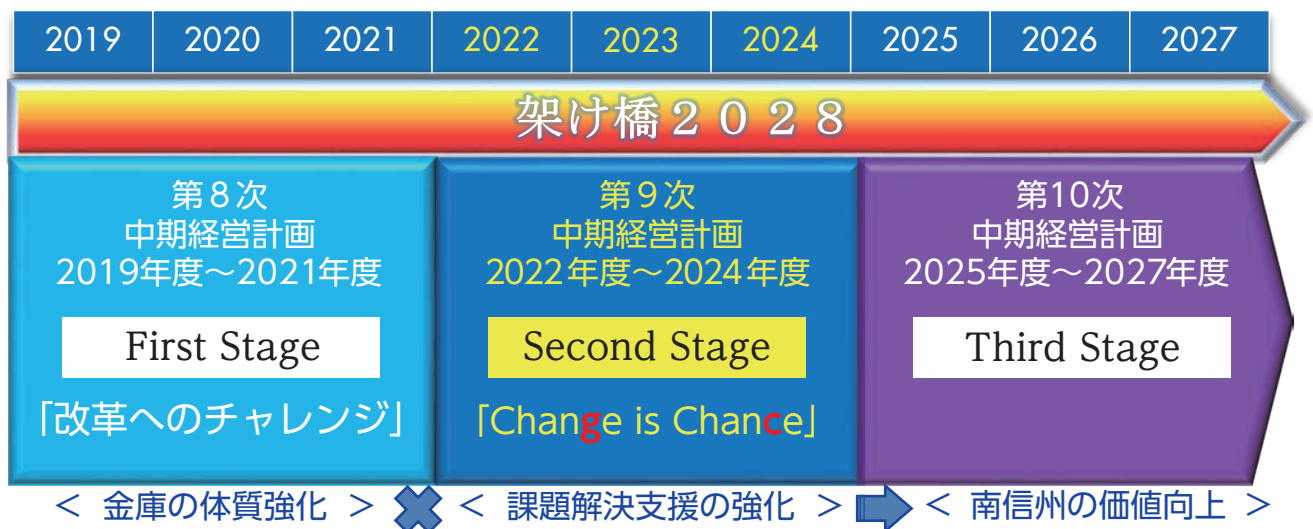
■経営ビジョン(2028年のありたい姿)

地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関

■長期経営計画「架け橋2028」における第9次中期経営計画の位置づけ

第8次中期経営計画では「業務改革」(組織・人事制度改革、店舗体制・店舗機能改革、業務プロセス改革)に全職員の英知と努力を結集して取り組み、大きな成果を残すことができました。

第9次中期経営計画ではコロナ禍や社会構造の変化による環境「変化」(Change)を成長や発展の「機会」(Chance)として前向きに捉え、「共感・協働・共創」をテーマとして、お客さまと金庫との関係性を改善し、強固な信頼関係を再構築します。



■第9次中期経営計画の全体像



■第9次中期経営計画の概要

| 主要項目  | 主な内容                                                                                                               |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名 称   | 架け橋2028 Second Stage ～ Change is Chance ～                                                                          |
| ありたい姿 | お客さまや地域の課題解決を実現する様々な施策が立案・実行され、多くの成果が表れている                                                                         |
| テ ー マ | 共感・協働・共創                                                                                                           |
| 基本方針  | 1. 従来の考え方と行動を変革することにより、直面する激しい環境「変化」を成長と発展の「機会」とする。<br>2. お客さまと地域の希望や喜び、不安や悩みに「共感」し、課題解決のために「協働」することにより、未来を「共創」する。 |
| 重点課題  | お客さまと地域の課題解決支援の強化                                                                                                  |
| 重点目標  | <お客さま> お客さまの課題を解決する<br><地 域> 地域の魅力を高める<br><職 員> 地域と金庫の将来を担う職員を育成する<br><金 庫> サステナブルなビジネスモデルに変革する                    |

■重点目標に対する総合KPI

| 重点目標                      | 総合KPI (重点目標を達成した結果・姿)                                       | 2025年3月末       |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------|
| お客さま<br>お客さまの課題を解決する      | ・積立型資産形成契約先数<br>・創業・事業承継・M&A・撤退(廃業)支援件数                     | 1,500先<br>330先 |
| 地域<br>地域の魅力を高める           | ・取引先付加価値額の増加(増加先数・増加率)<br>※付加価値・経常利益+人件費+賃料+金融費用+租税公課+減価償却費 | 250先<br>3%     |
| 職員<br>地域と金庫の将来を担う職員を育成する  | ・外部出向・派遣により金庫に活かせる業務や経験をした職員数<br>・デジタル人材の育成                 | 5名<br>13名      |
| 金庫<br>サステナブルなビジネスモデルに変革する | ・コア業務純益(投信解約損益除く)<br>・CO <sub>2</sub> 削減量(2013年度比)          | 24億円<br>50%    |

マネー・ローンダリングへの取り組み

当金庫では令和5年度、経営上の重要課題に「マネロン・テロ資金供与対策の充実強化」を掲げ、お客さまの大切な財産をお守りし、安心・安全にお取引いただくためにガバナンス態勢をより強化し、諸施策が効果的に機能するよう取り組んでまいります。

■マネー・ローンダリング等防止に向けた取り組みの強化について



金融取引の複雑化や犯罪手法の巧妙化に伴い、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与リスクが高まってきている中、当金庫は、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与を未然に防止するため、「犯罪による収益の移転防止に関する法律(犯罪収益移転防止法)」ならびに「金融庁マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」等の関係法令等を遵守し、引き続き一層の取り組み強化に努める方針です。

なお、お客さまのお取引が「犯罪収益の移転の危険性が高いものとして[疑わしい取引]の届出に該当する取引」と認識した際は、当金庫は速やかに監督官庁に「疑わしい取引」の届出を行うとともに、継続的な取引モニタリングの実施や取引制限を行うことが義務付けられております。

そのため、今後は金融当局等の指導に基づき、当金庫がマネー・ローンダリング及びテロ資金供与のリスクが高いと判断せざるを得ない一部のお取引につきましては、通常のお取引よりも厳重な取引時確認を実施させていただくとともに、場合によりましては当該お取引をお断りさせていただく、または一部お取引を制限させていただくことがございます。

お客さまには一部ご不便をお掛けすることが予想されますが、何卒趣旨をご理解いただくとともに、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■お取引時確認およびお客さま情報の定期的な確認のお願いについて



マネー・ローンダリング及びテロ資金供与の防止を強化する目的で平成25年4月1日「犯罪による収益の移転防止に関する法律」が改正されたことに伴い、当金庫では、口座開設等に際して従来の本人確認(氏名、住所及び生年月日等)に加え、お取引の目的、職業や事業内容等について確認(取引時確認)させていただいています。

加えて、お客さまとのお取引の内容、状況等に応じて、過去にご確認させていただいた、お客さまの氏名・住所・生年月日や、お取引の目的等を、当金庫の窓口や郵便等により再度定期的にご確認させていただく場合があります。また、その際に、各種書面等のご提示をお願いする場合があります。

各種質問へのご回答やご依頼した資料のご提出について、適切にご対応いただけない場合、やむを得ず新規のお取引をお断りさせていただく場合があります。また、既にお取引いただいているお客さまにおかれましては、やむを得ずお取引の一部を制限等させていただく場合があります。

また、平成28年10月1日の再改正に伴い、顔写真のない本人確認書類のご提示における追加的な確認、法人のお客さまの実質的な支配者として個人の方まで確認、及び外国政府等において重要な公的地位にある方等の確認などをさせていただいています。

また、平成26年7月1日から米国の外国口座税務コンプライアンス法(通称「FATCA(ファトカ)」)に基づいて、「お客さまが米国人等に該当するか」の確認、平成29年1月1日からは租税条約等の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律(略称「実特法」)に基づき、「お客さまが居住者として租税を課される国(居住地国)はどこか」について確認させていただいています。

併せてご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

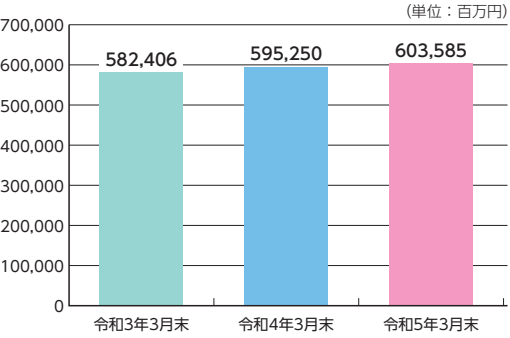
業績ハイライト

金融機関の競合はますます激しくなっていますが、地域のみなさまのご支援により、預金、融資、収益等の各部門で、次のような業績を挙げることができました。

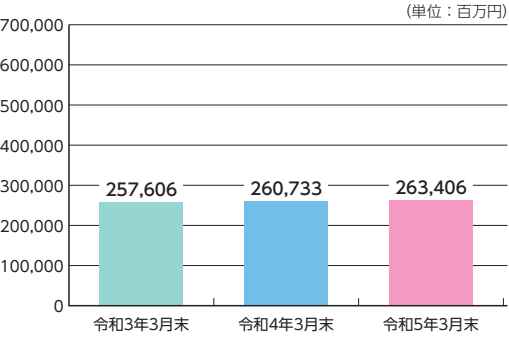
業績は堅調を維持しています。

預金・貸出金の状況

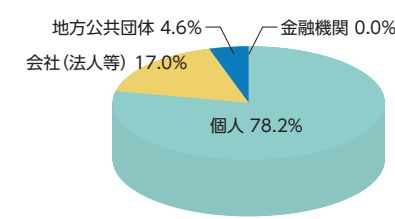
●預金残高の推移



●貸出金残高の推移

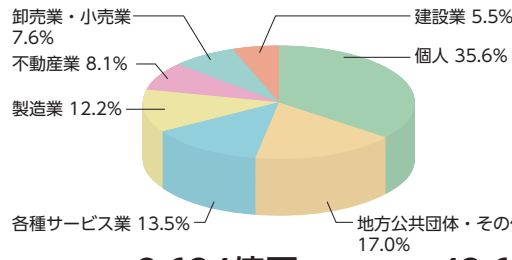


●預金者別構成比



▶預金積金残高 6,035億円

●貸出先別構成比



▶貸出金残高 2,634億円 ▶貸付率(注) 43.6%

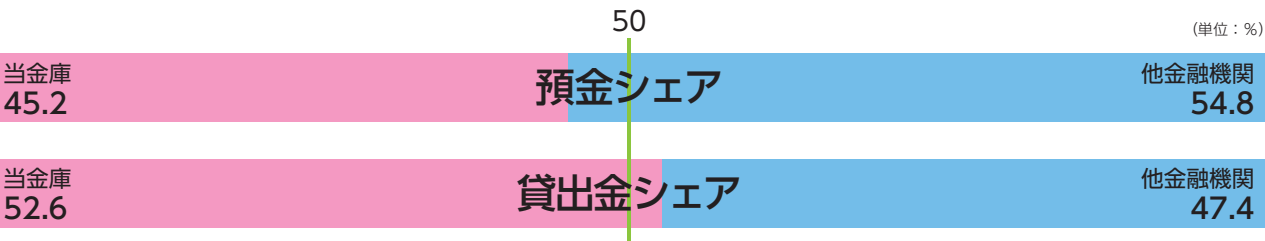
(注) 預金の残高に対する貸出金の残高の割合を貸付率といいます。

預金の期末残高は、前期末比83億35百万円、1.40%増加し、6,035億85百万円となり、増加額、増加率ともに堅調に推移しました。個人預金は、SDGs民俗芸能応援定期預金を発売したことなどにより、0.71%増加、法人預金等は、3.95%増加しました。

貸出金の期末残高は、前期末比26億73百万円、1.02%増加し、2,634億6百万円となり、増加額、増加率ともに堅調に推移しました。個人向け貸出金は、住宅資金需要の堅調な伸びを背景に、3.04%増加しました。

地区内シェアはNo.1。

地区内シェアの状況

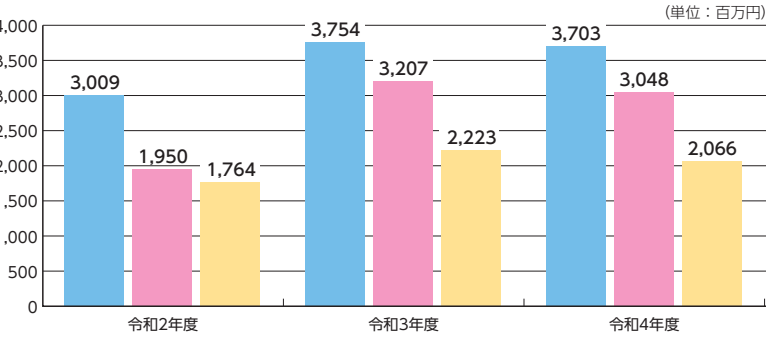


地域のみなさまから厚い信頼をいただき、当金庫の主要営業地区である飯田・下伊那の金融機関(ゆうちょ銀行を除く)内における預金残高シェアは45.2%、貸出金残高シェアは52.6%となっています。(みなみ信州農協は2月末、その他の金融機関は3月末の残高による比較) ※他金融機関は、飯田下伊那地区内の銀行、信用組合、農協における預金、貸出金の合計

安定した収益を堅持しています。

収益の状況

●収益の推移



経費は減少した一方、利回り低下の影響により貸出金利息収入ならびに有価証券利息収入が減少したことから、コア業務純益は減益となりました。また貸倒引当金繰入額が増加したことから、経常利益、当期純利益も減益となりましたが、いずれも大きく目標を上回りました。

有価証券の含み益は241億円。

有価証券の状況

●保有有価証券の時価情報

|        |     | (単位：百万円) |         |        |
|--------|-----|----------|---------|--------|
|        |     | 取得原価     | 時 価     | 評価差額   |
| 保有有価証券 | 株 式 | 7,895    | 13,162  | 5,267  |
|        | 債 券 | 245,620  | 254,949 | 9,329  |
|        | その他 | 38,519   | 48,095  | 9,575  |
| 合 計    |     | 292,034  | 316,207 | 24,172 |

お客さまからお預かりした預金のうち、貸出金に回らない資金は主に有価証券にて運用しています。堅実な資金運用と運用資産の健全化に取り組んだ結果、当期末の有価証券の含み益は241億円となりました。これは、信用金庫業界トップクラスの水準です。

自己資本の額は668億円。

自己資本比率(単体)

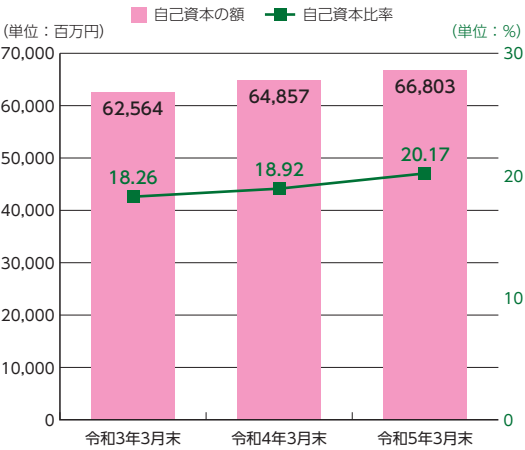
●自己資本の額・自己資本比率の推移

自己資本の額は、当期純利益20億66百万円を計上したことなどから、前期末比2.99%増加し668億3百万円となりました。

一方、一部貸出金のリスク・ウェイトが低下したことなどから、リスク・アセットは前期末比3.40%減少しました。

この結果、当期末の自己資本比率は、前期末の18.92%から1.25ポイント上昇し20.17%となりました。

引き続き国内基準(4%以上)を大きく上回っており、高い健全性を維持しています。





主催・共催



後援団体



金庫行事



その他



主催・共催



後援団体



金庫行事



その他



## 新入職員入庫式

令和4年4月1日(金)

理事長から9名の新入職員に配属先辞令を手渡し、「熱い志をいつまでも忘れずに」と訓示を受けました。新入職員代表は、「三遠南信自動車道とリニア中央新幹線がもたらす変化にも対応し、南信州地域の価値向上に貢献できるよう日々精進したい」と述べ、社会人としての第一歩を踏み出しました。



## SYMS定期総会・記念講演会

令和4年4月15日(金)

SYMS（シームス、しんきん若手経営者の会）では、2022年度定期総会・記念講演会に元トヨタ自動車 レクサスブランドマネジメント部長でA.T.MARKETING Solution代表の高田敦史氏をお招きし、「トヨタで学んだ組織マネジメント～チャレンジできる組織に変革させる～」のタイトルでご講演いただきました。



## 特別養護老人ホーム 清掃ボランティア

令和4年10月1日(土)～令和4年10月30日(日)

平成27年度、当金庫の創立90周年に地域貢献活動の一環として開始した活動です。飯田下伊那地域の特別養護老人ホーム11施設で、94名の役職員が窓拭き、車イス洗い、クモの巣払い、駐車場清掃、草取りなどの作業を実施しました。



## 電話対応コンクール 飯田・阿南地区大会

令和4年10月14日(金)

当金庫からは新入職員9名が出場し、飯田・阿南地区大会では準優勝1名、優秀賞4名、審査員特別賞1名、県大会では優秀賞1名という結果となりました。当金庫では、電話もお客さまとの大切な接点として、引き続きよりよい応対となるよう努めてまいります。



## 農業体験研修(よこね田んぼ)

令和4年5月14日(土)～令和4年9月24日(土)

新入職員が日本の棚田百選に認定されている「よこね田んぼ」で農業体験研修を行いました。参加した職員からは、「次の世代へどうつないでいこうか。後継者の支援等により、よこね田んぼや地域の農業を残していきたい」という感想もあり、さまざまな面で共感力を高める良い機会となりました。



## 非常食119セットを贈る

令和4年5月30日(月)

令和4年度中に賞味期限を迎える非常食7種類119セットを、飯田市社会福祉協議会を通してフードバンク信州に寄贈しました。地域に還元できる食料としてはわずかな量かもしれませんが、必要とする方々に役立てていただき、SDGs目標の1つ「貧困をなくそう」に少しでも貢献できれば幸いです。



## 南信州の民俗芸能を知る

令和4年11月3日(木・祝)

私たちが住む伊那谷には、このたびユネスコ無形文化遺産に登録された、「風流踊」として阿南町の「和合の念仏踊り」や「新野の盆踊り」など、古くから地域の人々によって、伝承されてきた多くの民俗芸能があります。南信州の民俗芸能をみなさまに知っていただく機会として、南信州の風流踊の講演会、新野の盆踊りと踊り、パネル展示を行いました。



## SYMS冬の大作戦

令和4年12月3日(土)

SYMSでは、コロナ禍で閉塞感がある南信州地域のみなさまが少しでも明るく温かい気持ちになっていただきたいと願い、「SYMS冬の大作戦」をリンゴ並木にて開催いたしました。当日は南信州地域の子どもの願いを込めた色とりどりの短冊と、30店舗以上の屋台により大盛況となり、SYMS大スターマインにてフィナーレを飾りました。



## 女性職員の制服を一部廃止

令和4年6月1日(水)

業務内容に性別が影響しないようにする人事改革の一環として、これまで女性職員が着用していた制服の一部廃止しました。「女性もさまざまな仕事にチャレンジし活躍できる」という意識付けのきっかけとし、SDGs目標の1つ「ジェンダー平等を実現しよう」の達成を目指してまいります。



## 平和の種プロジェクトに協力

令和4年6月1日(水)～令和4年11月25日(金)

「南信州地域内に数多くのひまわり(ウワライナの国花)を咲かせ、平和の尊さを再認識し、皆で力を合わせ、平和復興支援の一助となる活動を行う」という趣旨に当金庫も賛同し、各支店や職員個人宅で心を込めてひまわりを育てました。また、多くのお客さまにもご協力いただきました。回収した種は「ひまわり油」となり、その販売収益は平和復興の一助として支援金寄付に充てられます。



## 第25回 企業電話対応コンテスト

令和4年12月12日(月)

平成27年度よりNTTユーザ協会主催の「企業電話対応コンテスト」に全店舗・本部で参加しています。令和4年度は、当金庫の対応が優秀賞（商業・金融部門2位／71事業所、全国事業所5位／336事業所）を受賞しました。また、過去3回以上連続で優秀賞を受賞したことにより、2022年シルバーランク企業に認定されました。



## 高校「金融教室」での講義

令和5年2月17日(金)

当金庫のマナーアドバイザーが講師となり、下伊那農業高校にて「金融教室」を開催いたしました。クレジットカードの知識やキャッシュレス決済、借入時の金利といった経済生活に必要な基礎知識について講義をいたしました。



## しんきん南信州地域研究所叢書「郷土の偉人」を発行

令和4年7月22日(金)

当金庫が毎月発行している「飯伊地区産業経済動向」の500号記念事業として、経済人や学者を紹介するしんきん南信州地域研究所叢書「郷土の偉人」を発刊し、図書館や学校に配付しました。地域の子どもたちが郷土を知り、故郷を誇りに思えるようになってほしいと願います。



## 大規模災害初動対応訓練の実施

令和4年10月1日(土)

当金庫では例年、大規模災害発生に伴う各種対応のBCP（Business Continuity Plan、事業継続計画）訓練を実施しています。今回は三井住友海上火災保険㈱にご協力いただき、主に営業店長を対象とした初動対応訓練・業務継続対応訓練を実施しました。



## 第15回 三遠南信しんきんサミット

令和5年2月18日(土)

第15回目となる三遠南信地域の8信用金庫が主催する本サミットは、アルプス中央信用金庫が事務局となり、その様子はYouTubeでもライブ配信されました。信州大学特任教授で法律博士・ニューヨーク州弁護士山口真由氏による記念講演のほか、公式WEBサイトにて観光動画や特産品などの三遠南信地域の魅力を全国へ発信しました。



## 第53回 しんきん経済講演会

令和5年3月7日(火)

芝浦工業大学教授でマーケティングアナリストの原田曜平氏をお招きし、「Z世代の活躍で成功をつかめ!～超人手不足時代の若者の育成、採用～」のタイトルで、前年に引き続き会場聴講とオンライン配信を合わせたハイブリッド方式により開催しました。日本における世代論やZ世代の特徴を踏まえた育成のポイントについて大変わかりやすくご講演いただきました。



# 主な商品・サービス一覧



## フレッシュアーズ給与振込キャンペーン

令和4年2月14日(月)～令和4年6月30日(木)

キャンペーン期間中、＜給与振込ご指定＞の条件に該当した方にQUOカード1,000円分を、さらに＜定期積金ご契約＞の条件にも該当した方にQUOカード1,000円分をプレゼントいたしました。



## 長野県プロフェッショナル人材戦略拠点の一部業務受託開始

令和4年4月1日(金)▶継続中

地域企業の成長戦略の実現に向け、企業のみならず求める専門的な技術や知識を持つプロフェッショナル人材の活用ニーズを掘り起こし、都市部からプロフェッショナル人材の地方還流(Uターン)を促進するため、長野県プロフェッショナル人材戦略拠点から一部業務を受託し、人材紹介の取り扱いを強化いたしました。



## 資産づくり応援キャンペーン

令和4年6月20日(月)～令和4年11月30日(水)

キャンペーン期間中、＜iDeCo新規ご契約＞または＜投資信託定期額買付新規ご契約＞の条件に該当した方に1,000円をプレゼントいたしました。また、＜投信インターネットサービスでの投資信託一括買付＞に該当した方に、累計買付額に応じて500円～5,000円をプレゼントいたしました。



## クラウド入出金管理サービス「INVOY」の紹介業務開始

令和4年9月5日(月)▶継続中

令和5年10月から導入されるインボイス制度に対応した請求書の発行・管理や、領収書・見積書の作成等が無料でできるクラウド入出金管理サービス「INVOY」の紹介業務を開始しました。お客さまがお取引されている複数の金融機関口座を登録することにより、残高および入出金明細を一括で管理することが可能となる統合通帳機能(一部有料)等も備えているサービスです。



## SDGs民俗芸能応援定期預金キャンペーン

令和4年11月14日(月)～令和5年1月13日(金)

地域の人々によって多くの民俗芸能が伝承されてきた「民俗芸能の宝庫」と言われるこの伊那谷の民俗芸能を、本キャンペーンを通じて情報発信するため、「SDGs民俗芸能応援定期預金」を発売いたしました。期間中想定を上回るお預入をいただき、みなさまを代表して当金庫から総額100万円を、国重要無形民俗文化財となっている飯田下伊那地域の民俗芸能保存団体14団体に寄付いたしました。



## 「e-dashサービス」の紹介業務開始

令和4年12月1日(木)▶継続中

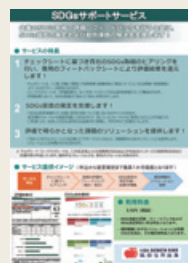
CO<sub>2</sub>排出量の可視化・削減サービスプラットフォームを開発・運営するe-dash株式会社と業務提携し、地域の事業者さまの脱炭素に向けた取り組みを支援する「e-dashサービス」の紹介業務を開始しました。サービスプラットフォームを通じて、エネルギーの最適化からCO<sub>2</sub>削減までをトータルにサポートしてまいります。



## SDGsサポートサービスの取扱開始

令和4年12月1日(木)▶継続中

三井住友海上火災保険株式会社、MS&ADインターリスク総研株式会社に協力いただき、地域の事業者さまのSDGsへの取り組みを支援する「SDGsサポートサービス」の取り扱いを開始しました。事業者さまのSDGsの取組状況を診断し、SDGs宣言の作成をサポートいたします。



## 「みらデジ」を活用した課題解決支援の開始

令和5年3月13日(月)▶継続中

地域の事業者さまの経営課題をデジタル化により解決する「みらデジ」(中小企業庁が提供する、企業のデジタル化を支援するツール)に支援機関登録し、同ツールを活用した課題解決支援活動を開始しました。



## 地域貢献表彰「SPARC(スパーク)」

「信用金庫らしさに磨きをかける」のテーマに基づき、「地域生活者として、地域とお客さまを愛し、地域を知り尽くし、地域のために情熱を注ぐ」行動を顕著に体現している職員を表彰する仕組み、地域貢献表彰「SPARC(スパーク、Shinkin President's Award for Regional Contributionの略)」を令和2年度より開始しております。

### ■表彰対象

被災地ボランティア、地域住民の安心と安全を守る活動、地域の子どもの心身成長に寄与する活動、民俗芸能活動、人命救助活動など

### ■2022年 最優秀賞

軟式野球審判員

中平 亮 さん

#### 受賞の理由

- 地域内で開催される連盟試合の審判員を入庫以来13年間の長きにわたって務め、地域のスポーツ振興に大きく貢献している。
- 「高松宮賜杯全国軟式野球大会」や軟式野球大会の最高峰である「天皇賜杯全国軟式野球大会」で審判員を務めた実績もある。



#### 受賞者コメント

- 審判は選手と異なり主役ではありませんが、裏方として試合を支える重要な役割です。細かいルールを把握した上でプレーに対して瞬時に正確なジャッジを下さなければなりません。不安やプレッシャーを感じることも多いですが、元来裏方の仕事にやりがいを感じることも多く、審判は私の性格に合っていたと思います。
- 審判を通じて多くの方々とお会えたこと、休日に家を空ける機会が多い中活動を理解してくれている家族に感謝いたします。今後も審判を通じて微力ながら地域貢献できるよう活動していきたいと思っています。

# 地域密着型金融の推進への取り組みと 金融仲介機能の発揮

## ■地域密着型金融の推進への取り組み

当金庫は、さまざまな専門家と連携しながら良質な金融サービスの提供を目指しています。

事業を営んでいるお客さま向けとして、課題設定型伴走支援「★三つ星☆プロジェクト★」を通じ、ライフステージ（発展段階）に応じたコンサルティングを行っています。営業エリア内の店舗においては、地域ごとに配置されたビジネスアドバイザーや営業店担当者が経営に関するさまざまなご相談にお応えしており、内容によっては外部専門家との連携による課題解決にも取り組んでおります。

個人のお客さま向けとして、営業統括部に常駐する社会保険労務士が年金に関するご相談を承っています。また、地域ごとに配置されたマネーアドバイザーが金融資産の運用に関するお客さまのライフステージに応じたご相談にお応えし、最適な資産形成をサポートしています。さらに、資産運用セミナーやマネーアドバイザーを講師として地元小・中・高校生への金融教室も実施しています。

## ■金融仲介機能の発揮

当金庫は、前述のようなお客さま本位の良質な金融サービスを提供し、金融仲介機能の質の向上に努めています。「金融仲介機能のベンチマーク」を利用してこの取り組みについてお客さまにもご理解いただくとともに、当金庫の取り組み状況の進捗管理や課題について自己点検・自己評価し、今後のお取引先の価値の向上につながる有益な金融サービスの提供を目指していきたいと考えています。

### ◆経営者保証に関する取り組み

当金庫では、お取引先とコミュニケーションを深めつつ事業性評価に取り組むことにより、財務データや担保・保証・返済履歴等に必要以上に依存しない与信判断も行っています。

| ベンチマーク（選択11）                        |             | 令和4年<br>3月末 | 令和5年<br>3月末 |
|-------------------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 経営者保証に関するガイドラインの活用先数、及び、全与信先数に占める割合 | 全与信先数①      | 2,866先      | 2,871先      |
|                                     | ガイドライン活用先数② | 337先        | 299先        |
|                                     | ②／①         | 11.8%       | 10.4%       |

| 取組項目                                                        | 令和3年度  | 令和4年度  |
|-------------------------------------------------------------|--------|--------|
| 新規に無保証で融資した件数                                               | 439先   | 420先   |
| 保証契約を解除した件数                                                 | 3先     | 10先    |
| 経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数<br>(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る) | 0先     | 0先     |
| 新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合                                    | 10.82% | 10.93% |

経営者保証に関する取組方針

当金庫では「経営者保証に関するガイドライン」（以下、「ガイドライン」という。）の趣旨や内容を踏まえ、同ガイドラインを融資償行として浸透・定着するよう、以下のとおり取り組みます。

① 当金庫は、お客さまと向き合い、対話を通じてビジネスモデルを理解・共有することで、お客さまと一緒に事業の成長をご支援いたします。

② 当金庫はお客さまのガイドライン要件の充足状況や経営状況等を総合的に判断し、経営者保証を求めることがやむを得ないと判断し、経営者保証をご提供いただく場合、お客さまのご理解と納得を得ることを目的に、保証契約の必要性等に関する丁寧かつ具体的な説明を行います。

③ 経営者保証をご提供いただく場合、お客さまの資産及び収入状況、融資額、信用状況、情報開示の姿勢等を総合的に勘案して、適切な保証金額の設定に努めます。

④ お客さまから既存の保証の変更・解除等の申入れがあった場合は、ガイドラインに即して改めて経営者保証の必要性や適切な保証金額について真摯かつ柔軟に検討を行うとともに、その検討結果について丁寧かつ具体的な説明を行います。

⑤ 事業承継時には、原則として前経営者、後継者の双方から二重で経営者保証は求めないこととします。例外的に二重に保証を求める必要がある場合は、丁寧かつ具体的な説明を行います。また、後継者に当然に保証を引き継いでいただくのではなく、その必要性を改めて検討いたします。

⑥ お客さまからガイドラインに基づく保証債務整理の申し出を受けた場合には、ガイドラインに即して誠実に対応いたします。

以上

令和5年4月



### ◆独自ベンチマーク

当金庫は、金融を通じて地域の経済発展に寄与することに加え、環境方針を策定しグループ全体として環境に取り組んでいます。環境に対する具体的な取り組みとして、国が進めるクリーンエネルギーの推進政策を側面から支援するため、節電やCO<sub>2</sub>削減に取り組む企業または個人のお客さまに専用の融資制度を設けています。

| ベンチマーク（独自）                               |         | 令和4年 3月末 | 令和5年 3月末 |
|------------------------------------------|---------|----------|----------|
| 太陽光、小水力、風力、バイオマス等の発電設備<br>資金等の与信先数及び融資残高 | 先 数     | 342先     | 342先     |
|                                          | 融 資 残 高 | 6,029百万円 | 5,389百万円 |

### ◆共通ベンチマーク

当金庫をメイン先としてご利用いただいているお客さまについては、当金庫とのお取引がお客さまのお役に立てるよう、さらに理解を深めることに取り組んでいます。

| ベンチマーク（共通1）                             | 令和4年 3月末 | 令和5年 3月末 |
|-----------------------------------------|----------|----------|
| メイン先数                                   | 1,077先   | 1,109先   |
| メイン先の融資残高                               | 915億円    | 926億円    |
| 経営指標等が改善した先数                            | 677先     | 794先     |
| 経営指標等が改善した先に係る<br>3年間の事業年度末の<br>融資残高の推移 | 令和4年 3月末 | 令和5年 3月末 |
|                                         | 694億円    | 744億円    |
|                                         | 令和3年 3月末 | 令和4年 3月末 |
|                                         | 696億円    | 694億円    |
|                                         | 令和2年 3月末 | 令和3年 3月末 |
|                                         | 666億円    | 696億円    |

さまざまな経営環境の変化により、当初に予定したような事業の展開ができず経営不振に陥ったお取引先に対し、当金庫は金融円滑の趣旨に沿った支援に取り組んでいます。

| ベンチマーク（共通2）                          |        | 令和4年 3月末 | 令和5年 3月末 |
|--------------------------------------|--------|----------|----------|
| 中小企業の<br>条件変更先に係る<br>経営改善計画の<br>進捗状況 | 条件変更総数 | 608先     | 589先     |
|                                      | 好 調 先  | 0先       | 2先       |
|                                      | 順 調 先  | 20先      | 17先      |
|                                      | 不 調 先  | 588先     | 570先     |

当金庫では、未だ具体的な事業の構想がまとまっていなくても、お客さまがお持ちのアイデアや熱い思いについて、創業前の個別相談などにより準備段階から支援に取り組んでいます。

| ベンチマーク（共通3）     |  | 令和4年 3月末 | 令和5年 3月末 |
|-----------------|--|----------|----------|
| 金融機関が関与した創業件数   |  | 68先      | 76先      |
| 金融機関が関与した第二創業件数 |  | 1先       | 0先       |

当金庫は、地域社会・地域経済を支える柱として重要な役割を担っているお取引先のライフステージに応じた経営支援に積極的取り組み、地域の発展に貢献してまいります。

| ベンチマーク（共通4）                           |         | 令和4年 3月末 | 令和5年 3月末 |
|---------------------------------------|---------|----------|----------|
| ライフステージ別の<br>与信先数                     | 全 与 信 先 | 2,866先   | 2,871先   |
|                                       | 創 業 期   | 45先      | 60先      |
|                                       | 成 長 期   | 56先      | 79先      |
|                                       | 安 定 期   | 534先     | 538先     |
|                                       | 成 熟 期   | 53先      | 69先      |
|                                       | 再 生 期   | 592先     | 527先     |
| ライフステージ別の<br>与信先に係る<br>事業年度末の<br>融資残高 | 全 与 信 先 | 1,696億円  | 1,695億円  |
|                                       | 創 業 期   | 16億円     | 31億円     |
|                                       | 成 長 期   | 35億円     | 45億円     |
|                                       | 安 定 期   | 458億円    | 429億円    |
|                                       | 成 熟 期   | 155億円    | 29億円     |
|                                       | 再 生 期   | 542億円    | 494億円    |

当金庫では、お取引先の事業について理解を深めるため、事業性評価に取り組んでいます。事業の成長性や今後の事業展開・将来性について妥当性を評価し、事業の発展に寄与するさまざまな支援を考えてまいります。

| ベンチマーク（共通5）                      |         | 令和4年 3月末 | 令和5年 3月末 |
|----------------------------------|---------|----------|----------|
| 事業性評価に基づく融資を行っている<br>与信先数及び融資残高  | 先 数     | 415先     | 508先     |
|                                  | 融 資 残 高 | 432億円    | 390億円    |
| 上記計数の全与信先数及び<br>当該与信先の融資残高に占める割合 | 先 数     | 14.5%    | 17.7%    |
|                                  | 融 資 残 高 | 25.5%    | 23.0%    |

# 総代会制度

## 総代会制度について

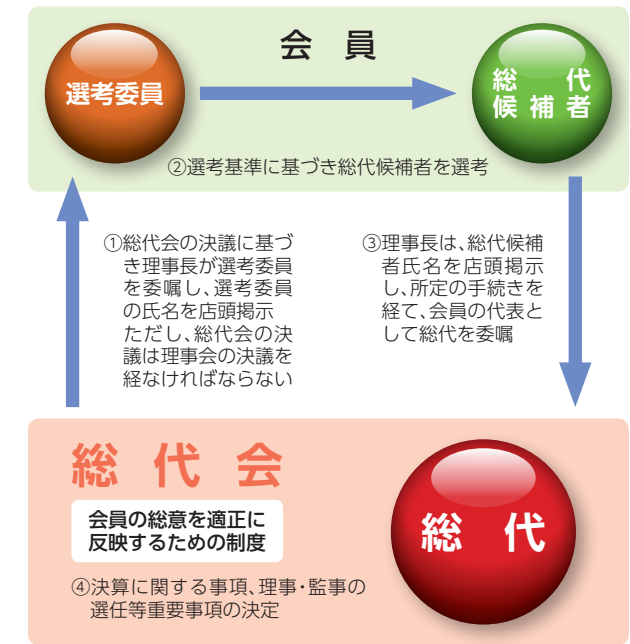
信用金庫は、地域の中小企業や住民のみなさまのための会員制度による協同組織の地域金融機関です。会員は出資口数に関係なく、一人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することになりますが、当金庫は会員が多いため、総会の開催は事実上困難です。

そこで、当金庫では会員のみなさまのご意見を経営に適正に反映するため、総会に代えて総代会制度を採用しています。

総代会は信用金庫法により、決算事項、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関であり、会員のみなさまお一人おひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代によって運営されています。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

総代会は、会員一人ひとりの意見を適正に反映するための開かれた制度です。



第99期 飯田信用金庫通常総代会

## 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っています。

総代の選考は、次の手続きを経て選任されます。

- ①会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- ②総代候補者選考委員が会員から総代候補者を選考する。
- ③総代候補者の氏名を店頭掲示する。
- ④会員が総代候補者を信任する（異議申出ができます）。
- ⑤会員の代表として総代に委嘱する。

## 総代候補者選考基準

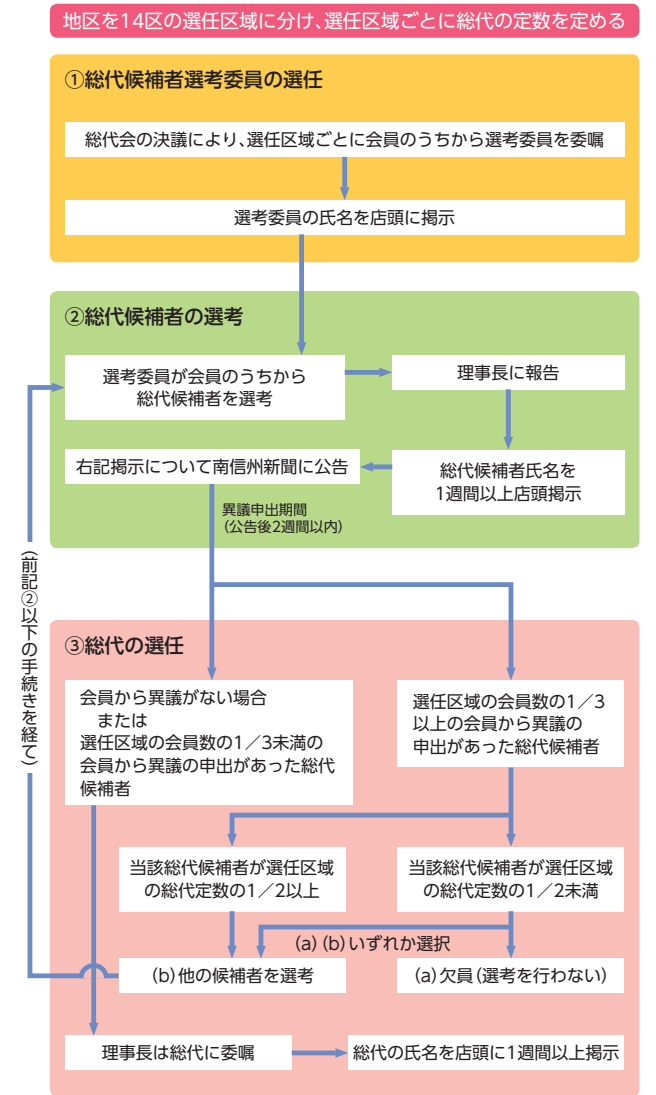
### ①資格・基準

- ・当金庫の会員であること。

### ②適格基準

- ・総代として相応しい見識を有している方。
- ・良識をもって正しい判断ができる方。
- ・人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している方。
- ・その他総代候補者選考委員が適格と認めた方。

## 総代が選任されるまでの手続きについて



## 第99期通常総代会

令和5年 6月16日開催の第99期通常総代会におきまして、次の議案が報告決議されました。

### 【報告事項】

- 第99期（令和4年 4月1日から令和5年 3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

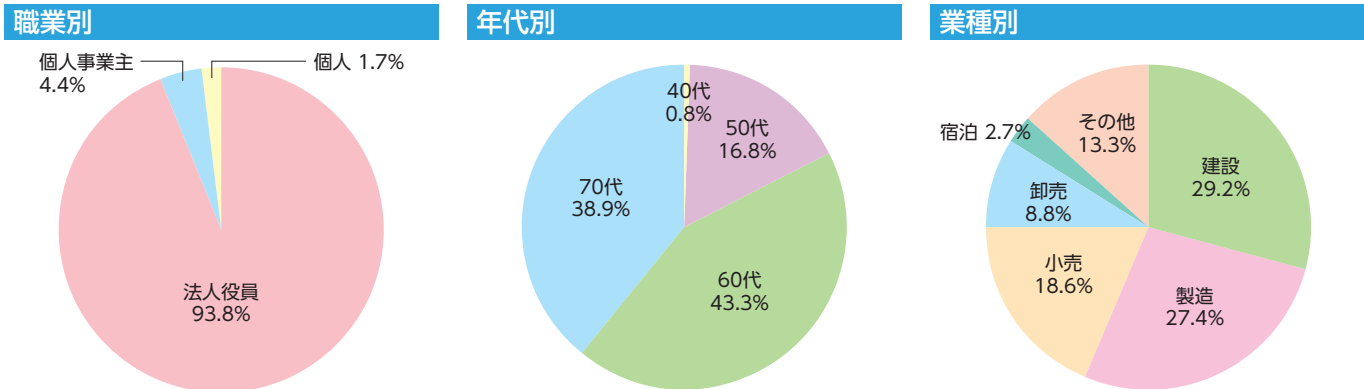
### 【決議事項】

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 会員の除名の件
- 第3号議案 任期満了に伴う役員（理事12名・監事4名）選任の件
- 第4号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

## 総代の氏名 令和5年 7月1日現在113名（敬称略・順不同） ※氏名の後の数字は総代への就任回数を表しています。

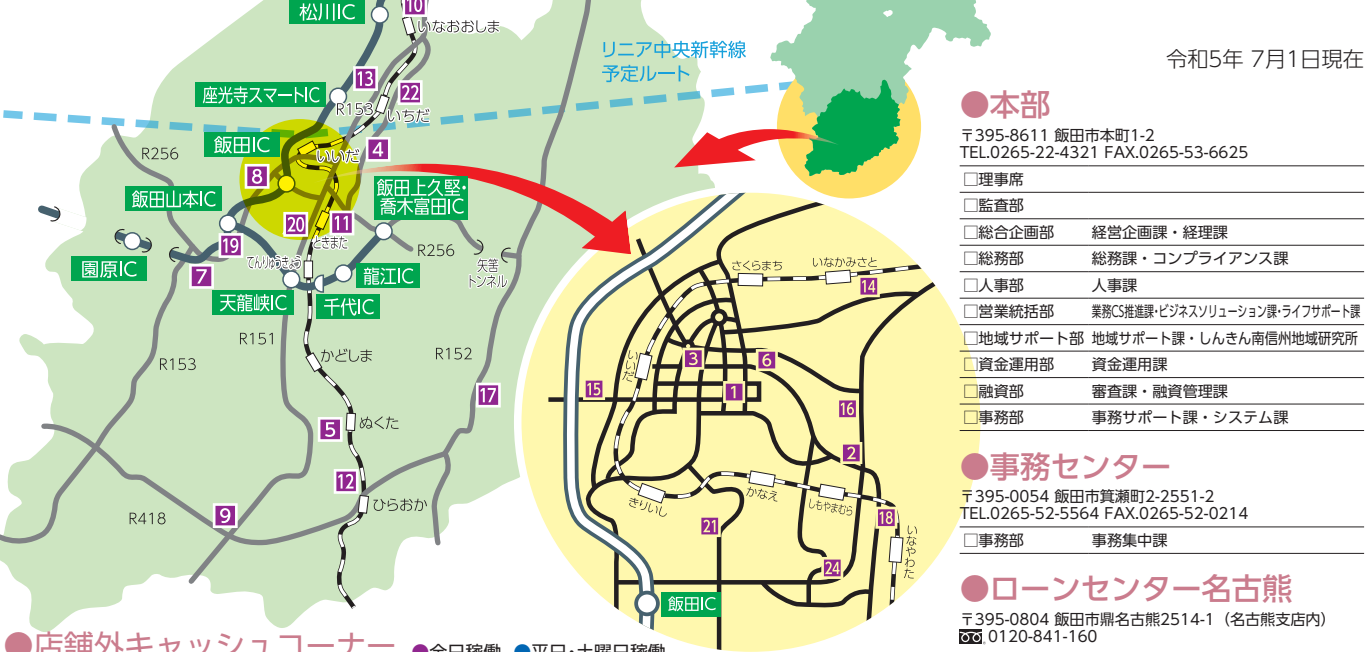
|                                                                                                                                  |                                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◆1区 旧飯田（人数：5）「橋北支店」<br>三村 勇二⑥・原 茂⑥・森竹 和己③・丸山 哲弘①<br>小畑 秀①                                                                        | ◆8区 北部・竜東地区（人数：5）「喬木支店」<br>野島 登⑥・松澤 徹⑤・小木曾啓人④・市瀬 光一④<br>田中 明文②                                                            |
| ◆2区 旧飯田（人数：11）「本店営業部」<br>齊藤 勝久⑤・福澤 栄夫④・園原 達郎③・小林 諭史③<br>中村洋次朗③・伊坪 眞③・大場 明宏②・武井 清彦②<br>中島 律子②・小林 伸①・長坂 亘治①                        | ◆9区 北部・竜東地区（人数：10）「高森支店・豊丘支店」<br>阿部 敏政⑤・下山 忠司④・宮下 裕次④・西條 和男③<br>三石 克己③・片桐日出樹②・堀口 政経②・昼神 活由④<br>田中 孝志③・木下 進①               |
| ◆3区 旧飯田（人数：7）「西支店」<br>前田 隆⑥・安藤 信男③・宮島 源治③・外松 實③<br>山村 晃弘③・井伊 徳廣②・勝間田 剛②                                                          | ◆10区 北部・竜東地区（人数：8）「大島支店」<br>熊谷 伸治⑦・大島 清夫④・桃沢 傳④・林 宗広④<br>小澤 悟②・高島 敏之②・小林 浩幸②・大林 剛①                                        |
| ◆4区 旧飯田（人数：5）「上飯田支店」<br>篠田 和秀⑥・渡辺 武彦④・小林 義尚③・小林 直樹①<br>細田 吉勝①                                                                    | ◆11区 伊賀良・山本を含む西部地区（人数：11）「伊賀良支店・山本支店」<br>原 隆澄⑥・横田 敏彦⑤・後藤 茂隆④・土屋 茂博③<br>宮下 貴好③・松澤 光政③・佐藤 幸一②・熊谷 嘉隆①<br>小田切通利⑦・原 昌弘⑤・浜島 保人② |
| ◆5区 県・上郷・松尾地区（人数：12）「県支店・切石支店・名古屋支店」<br>牧野 一成④・原 義博③・五十君親彦③・赤羽 宏文②<br>福澤 芳一③・夏目 佳春③・野沢 稔弘②・松下 勝彦②<br>花井 孝文①・伊藤 美明③・玉置 秀隆②・久保田栄一② | ◆12区 伊賀良・山本を含む西部地区（人数：7）「駒場支店」<br>中島 秀明⑤・山口 清幸③・岡本まり子③・濱島 英仁③<br>小澤 寛樹②・浜島 弘尚①・熊谷 安倫①                                     |
| ◆6区 県・上郷・松尾地区（人数：7）「松尾支店」<br>木下 龍夫⑥・後藤 大治⑤・山下 大輔⑤・宮内 七郎④<br>澤口 一男③・宮澤 正二②・藤本 和明①                                                 | ◆13区 竜峡・阿南地区（人数：8）「桐林支店・時又支店」<br>仲川 正博③・新井 通夫②・木下 貴志②・塚平 一人②<br>加藤 直樹③・小木曾 俊③・西尾 仁志③・中村 拓実②                               |
| ◆7区 県・上郷・松尾地区（人数：9）「上郷支店・城東支店」<br>宮澤 民人⑥・岩崎 計利④・手塚 宏行④・筒井 誠逸③<br>小平 善信③・原 治義⑥・伊坪 弘年③・武藤 安雄③<br>木下 祐一①                            | ◆14区 竜峡・阿南地区（人数：8）「阿南支店・新野支店・天龍支店・南信濃支店」<br>秦 和陽児⑦・松澤 和彦③・杉本 文良②・勝又 進②<br>勝野喜代始④・後藤 文登④・清水 良彦①・小林 文人①                     |

## 総代の属性別構成比



店舗一覧・所在地地図

所在地地図



|               |               |          |               |                                              |
|---------------|---------------|----------|---------------|----------------------------------------------|
| ●阿南ショッピングセンター | ●イオン飯田アップロード店 | ●キラヤ黒田店  | ●蕎木村役場        | ●平安堂飯田店                                      |
| ●アピタ飯田店       | ●イオン飯田店       | ●キラヤ竜丘店  | ●高森パース店       | ●平安堂座光寺店                                     |
| ●飯田市役所        | ●キラヤ伊賀良店      | ●下條小学校入口 | ●豊丘村役場        | ●MEGAドン・キホーテUNY高森店                           |
| ●飯田市立病院       | ●キラヤ県店        | ●西友県店    | ●根羽           | 稼働時間等、詳しくはHPを<br>ご覧いただくかお取引店へ<br>お問い合わせください。 |
| ●飯田病院         | ●キラヤ上飯田店      | ●西友伊賀良店  | ●ファミリーマート松尾明店 | 店舗外ATM一覧➡                                    |

店舗一覧 全店舗のATMコーナーにAEDを設置しています

この印がある店は貸金庫設置店

本店グループ

1 本店営業部

〒395-8611 飯田市本町1-2  
TEL.0265(22)1701  
FAX.0265(22)1733  
執行役員 本店営業部長  
石田 光男

6 橋北支店

〒395-0015 飯田市江戸町1-9  
TEL.0265(22)4030  
FAX.0265(22)4032  
支店長  
熊谷 健

2 県支店

〒395-0817 飯田市県東町103-3  
TEL.0265(22)2725  
FAX.0265(22)2724  
支店長  
平栗 洋臣

3 西支店

〒395-0086 飯田市県東町1-4-6  
TEL.0265(22)2625  
FAX.0265(22)4194  
支店長  
中平 博貴

4 蕎木支店

〒395-1101 蕎木村939-1  
TEL.0265(33)2500  
FAX.0265(33)3385  
支店長  
筒井 潤

阿南支店グループ

5 阿南支店

〒399-1501 阿南町北条2016-1  
TEL.0260(22)3311  
FAX.0260(22)2598  
支店長  
山田 幸生(兼務)

9 新野支店

〒399-1612 阿南町新野2030-1  
TEL.0260(24)2321  
FAX.0260(24)2945  
支店長  
山田 幸生(兼務)

12 天龍支店

〒399-1201 天龍村平岡1281-7  
TEL.0260(32)2023  
FAX.0260(32)3615  
支店長  
山田 幸生(兼務)

7 駒場支店

〒395-0303 阿智村駒場374-1  
TEL.0265(43)2211  
FAX.0265(43)2868  
支店長  
松澤 弘幸

伊賀良支店グループ

8 伊賀良支店

〒395-0157 飯田市大瀬木1115-3  
TEL.0265(25)7021  
FAX.0265(25)7043  
支店長  
原 浩司(兼務)

19 山本支店

〒395-0244 飯田市山本2335-1  
TEL.0265(25)6821  
FAX.0265(25)3808  
支店長  
原 浩司(兼務)

10 大島支店

〒399-3303 松川町元大島1587-2  
TEL.0265(36)3211  
FAX.0265(36)5568  
支店長  
原 健二

高森支店グループ

13 高森支店

〒399-3102 高森町吉田2194-5  
TEL.0265(35)5511  
FAX.0265(35)6398  
支店長  
北原 正志

22 豊丘支店

〒399-3202 豊丘村神福147-1  
TEL.0265(35)8800  
FAX.0265(35)8811  
支店長  
遠山 輝

14 上郷支店

〒395-0004 飯田市上郷黒田443-13  
TEL.0265(52)1311  
FAX.0265(52)6524  
支店長  
代田 鉄也

15 上飯田支店

〒395-0076 飯田市白山町1-1-5  
TEL.0265(52)3211  
FAX.0265(52)6507  
支店長  
福島 勝治

16 城東支店

〒395-0003 飯田市上郷別府3309-1  
TEL.0265(23)4411  
FAX.0265(23)5809  
支店長  
原 真史

17 南信濃支店

〒399-1311 飯田市南信濃和田1138-1  
TEL.0260(34)5115  
FAX.0260(34)5390  
支店長  
原 幸雄

18 松尾支店

〒395-0816 飯田市松尾久井2227-4  
TEL.0265(52)5211  
FAX.0265(52)5214  
支店長  
原 邦彦

桐林支店グループ

20 桐林支店

〒399-2565 飯田市桐林1036-1  
TEL.0265(26)7050  
FAX.0265(26)7377  
支店長  
福島 俊至(兼務)

11 時又支店

〒399-2563 飯田市時又555-5  
TEL.0265(26)9111  
FAX.0265(26)7508  
支店長  
福島 俊至(兼務)

21 切石支店

〒395-0807 飯田市県切石3818-1  
TEL.0265(22)9876  
FAX.0265(22)9800  
支店長  
山崎 一成

24 名古屋支店

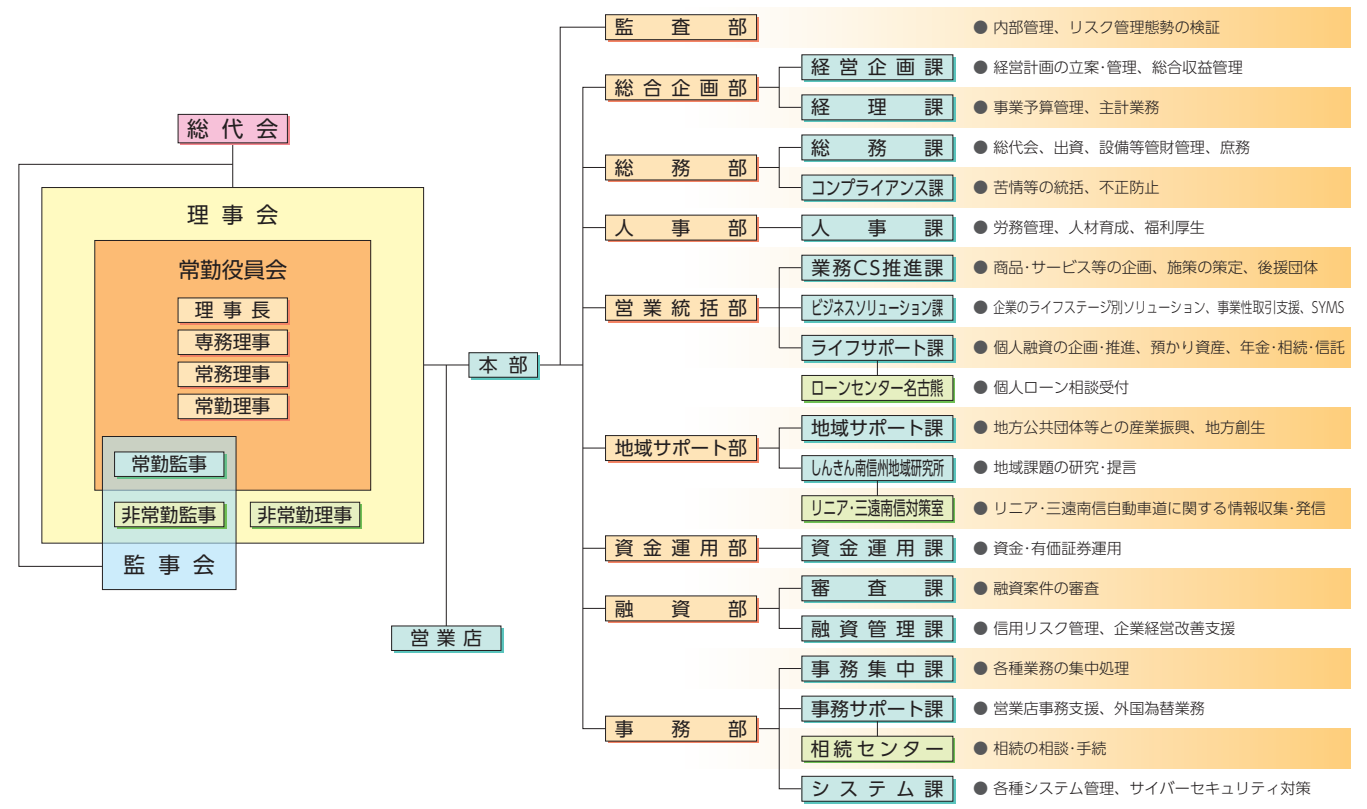
〒395-0804 飯田市県名古屋2514-1  
TEL.0265(53)6633  
FAX.0265(53)6665  
支店長  
山下 淳

※店舗23(旧東野支店)は、平成30年9月18日の西支店との統合により欠番となっています。

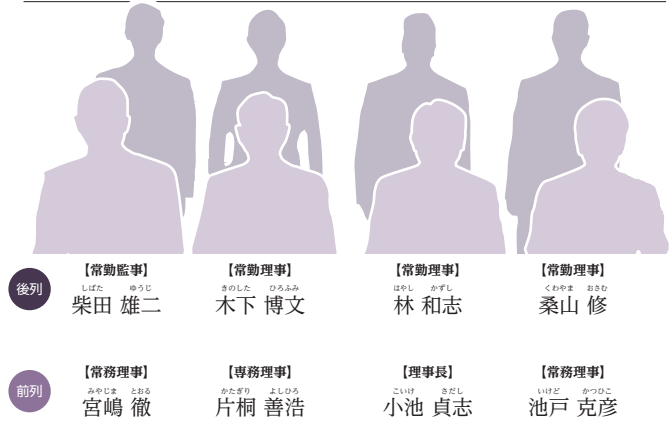
役員一覧・組織図



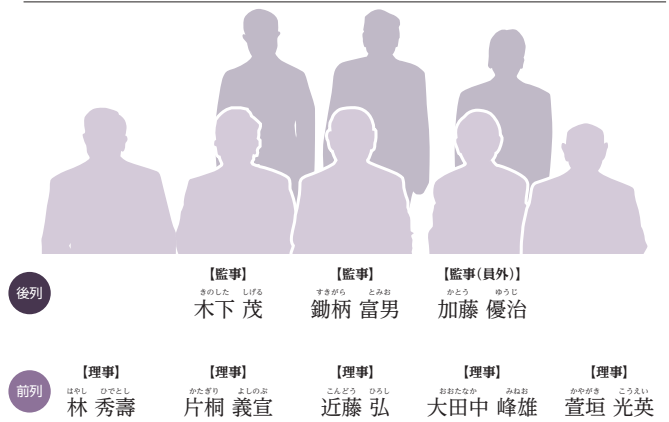
組織図



常勤役員



非常勤役員(職員外)



環境への取り組み

当金庫は、飯田下伊那に本店・支店を置く地元金融機関として、金融を通じて地域の経済発展に寄与することはもとより、豊かな自然に囲まれた地域を未来に残していく責任を感じています。

経済・文化貢献に加えて、環境改善に取り組むことは企業住民としての責務と考え、この目的をより合理的・効果的に達成するための手段として、国際的な環境マネジメントシステム規格であるISO14001の認証を、当金庫グループとして取得しています。

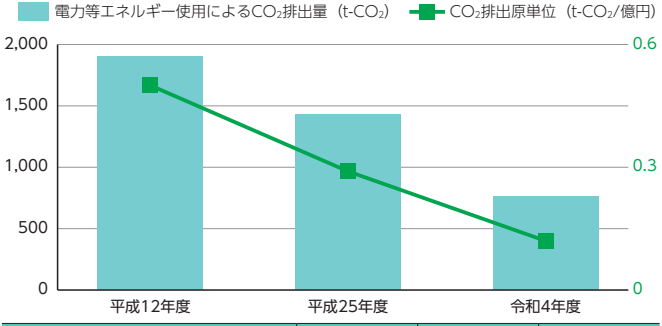
二酸化炭素排出量の削減や廃棄物のリサイクルをすすめています。

①事業活動における環境負荷軽減の取り組み

温室効果ガス削減のため電力等エネルギー使用量の削減に取り組み、令和4年度の二酸化炭素排出量(※1)はISO14001取得年度である平成12年度に比べ59.9%、SDGs目標基準年度である平成25年度に比べ46.7%削減することができました。この結果、預金1億円あたりの二酸化炭素排出原単位(※2)は0.12トンとなり、平成12年度に比べ76.0%、平成25年度に比べ58.6%減少しています。

(※1) 二酸化炭素排出係数は、環境省ホームページの資料(エコアクション21の換算表など)を使用しています。  
(※2) 二酸化炭素排出原単位とは、預金量1億円あたりの電力等エネルギー使用による二酸化炭素の排出量を表しています。

◆電力等エネルギー使用による二酸化炭素排出量の推移



環 境 方 針

1.基本理念

飯田信用金庫及び関連会社は、飯田・下伊那地域に本店をおく企業として、地域環境・地球環境の保全活動に取り組むことの重要性を認識し、役職員・社員一人一人が毎日の業務を通じて、地域の環境改善や文化創造への貢献に積極的に取り組みます。

2.基本方針

- (1) 当金庫及び関連会社の全ての事業活動が環境に与える影響を、適切に評価し改善するための管理システムを構築・運用し定期的に見直すことによって、継続的な環境改善と汚染の予防に努めます。
- (2) 環境改善や汚染の予防の取組に関連して、法令、条例等の規制及び当金庫及び関連会社が同意するその他の基準等を遵守し、技術的、経済的に可能な範囲で一層の環境保全に取り組みます。
- (3) 継続的な環境改善と汚染の予防のため、優先的に取り組む項目を設定し、定期的に見直します。
- (4) 積極的な社内広報活動や計画的な環境教育の実施により、当金庫役職員・社員全員の環境保全に関する意識を高めるとともに、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、生物多様性及び生態系の保護に努めます。
- (5) この環境方針は、当金庫及び関連会社の施設内で働く全ての人々に周知するとともに、一般に開示します。

②環境情報の発信等

- 飯田市の「燃やすごみ」袋へ当金庫の広告を掲載(広告料は飯田市の環境改善政策に活用されています)
- 地域ぐるみ環境ISO研究会への参加
- 長野県環境保全協会事業への参加
- ISO14001(環境マネジメントシステム)最新規格2015年版の認証登録継続
- SDGs宣言による環境負荷削減への取り組み実施
- 本店ビルでのCO<sub>2</sub>フリー電気の使用

融資商品を通じて二酸化炭素排出量の削減に寄与しています。

二酸化炭素排出量削減に効果のある商品の購入に際しての融資金利を優遇する住宅関連ローンを取り扱っています。お客さまにご利用いただくことで二酸化炭素排出量の削減に寄与しています。

◆環境融資商品

| 商品名   | 優遇内容      | 優遇対象                                                                   |
|-------|-----------|------------------------------------------------------------------------|
| 住宅ローン | 0.1%の金利優遇 | 太陽光発電システム、エコキュート、ガスエンジン給湯器(エコウィル)、潜熱回収型ガス給湯器(エコジョーズ)など環境に配慮した住宅設備をする場合 |

◆融資業務を通じてお客さまにより削減された二酸化炭素排出量の実績(令和4年度)

|        | 新規ご契約件数 | 融資金額(千円) | 二酸化炭素削減効果(kg-CO <sub>2</sub> ) |
|--------|---------|----------|--------------------------------|
| 住宅関連融資 | 27      | 754,190  | 126,530                        |

※二酸化炭素排出量削減効果については対象商品ごとに当金庫独自で算出しています。

# SDGsへの取り組み

## 飯田信用金庫「SDGs宣言」

令和元年11月15日、当金庫はSDGs宣言を策定・公表しました。

「SDGs取組目標」には、環境・社会・ガバナンスの3側面から50項目の目標を掲げています。

今後もSDGs関連情報を積極的に発信し、お取引先企業の取り組み支援にも注力してまいります。



## 飯田信用金庫 「SDGs宣言」

当金庫は、2015年9月の国連サミットで採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」を日々の活動に結び付け、「地域に寄り添い、お客さまと強い絆で結ばれた南信州の価値向上に貢献する金融機関」という経営ビジョンのもと、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

飯田信用金庫 理事長 小池 貞志

### Environment (環境)

#### 環境負荷削減の取り組み

- ・EMS(環境マネジメントシステム)による環境保全活動
- ・タブレットを使用した会議、営業活動
- ・出資証券の電子化
- ・カーボンオフセット通帳、再生紙、ベジタブルインクの使用
- ・グリーンボンドの購入
- ・天竜川水系環境ビクニックへの参加

#### 環境配慮型商品の販売

- ・農業被害等緊急対策資金「畑のお守り」
- ・各種ローンのWEB申込
- ・エコ住宅金利優遇
- ・家畜疾病経営維持資金
- ・省エネに係る利子補給金の取り扱い
- ・自然エネルギー融資商品の利用推進
- ・再生可能エネルギー事業者への貸出



### Governance (ガバナンス)

#### 内部管理態勢の充実

- ・統合的リスク管理態勢
- ・コンプライアンス徹底態勢
- ・総代会制度

#### お客さま満足度向上の取り組み

- ・お客さまアンケートの実施
- ・お客さまサービス係の設置
- ・紛争解決措置態勢

#### 積極的な情報発信

- ・ディスクロージャー誌の発行
- ・リニアレポートの発信
- ・飯伊地区「産業経済動向」の発行



### Social (社会)

#### 地域貢献活動

- ・災害備蓄品配備
- ・株主配当品の養護施設への継続的寄附
- ・「3010(食品ロス削減)運動」の推進
- ・災害用食糧の備蓄
- ・特別養護老人ホームボランティアの実施
- ・AED全店配置
- ・「信用金庫の日」募金
- ・スポーツ、教育、文化関連事業への協賛

#### 地域密着金融

- ・AML/CFTの実践、特殊詐欺防止対策
- ・アグリパートナー/アグリパートナーII(農業融資の拡大)
- ・医療、福祉関連分野の融資推進
- ・SDGs私募債受託による教育機関向けの寄附
- ・教育資金利子補給制度への協力
- ・NPO法人向け融資商品「ムス飯田支援資金」
- ・南信州地域活性化事業「三つ星プロジェクト」
- ・起業、創業、M&A、事業承継支援
- ・クラウドファンディング応援サイト「collabo」の運営
- ・認定支援機関として各種補助金を推進
- ・長野県の地域再生計画による支援
- ・自金庫アドバイザーによる経営相談
- ・長野県建築士会との連携協定
- ・地方版総合戦略への参画
- ・リニア周辺施設に対する融資促進

#### 人材育成

- ・認知症サポーター資格の取得
- ・中学生、高校生向けインターンシップ、金融教育の実施
- ・チャレンジする職員の養成
- ・女性職員を中心としたマネーアドバイザー制度の運用
- ・女性の働きやすい職場環境の整備と女性職員の活躍推進



### 長野県SDGs推進企業登録制度

#### 事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減

- ・2019年から2030年でCO<sub>2</sub>排出量を13.5%削減します(パリ協定の目標に従い、2013年から2030年で26.0%削減)

#### 女性の働きやすい職場環境の整備と女性職員の活躍推進

- ・2030年度終了時点で、全課長格以上の職員に占める女性課長格以上の職員の割合を15%にします

#### 創業支援関連融資の実行

- ・2030年度終了までに、創業関連融資を600件実行します(毎年50件)



### その他の取り組み

#### 地域のみなさまのために

- ・近隣市町村のSDGsプラットフォーム事業に協力
- ・SDGsREPORTを作成しお客さまに配布
- ・お取引先企業の長野県SDGs推進企業登録を支援

#### 各種機関との連携

- ・三井住友海上火災保険㈱と「SDGsに関する包括連携協定」を締結、SDGs取組セミナーを開催
- ・地方創生SDGs官民連携プラットフォームに加入

#### 職員への啓蒙活動

- ・勉強会の開催、参考図書を全店配付



IIDA SHINKIN BANK  
飯田信用金庫

〒395-8611 長野県飯田市本町一丁目2番地  
編集発行／飯田信用金庫 総合企画部 TEL(0265) 22-4321

